

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 55)

件名	制御盤内等ケーブル端子取外し時の誤作業による異常信号での機器停止	
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 精製建屋: 管理区域内の弁</p> <p>(2) 発生の状況 保守作業中</p> <p>(3) 概要 空気作動弁の分解点検のため、制御盤内で駆動用空気供給弁(電磁弁)の電源ケーブル端子の取外しを誤り他の機器を停止</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>	
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 精製建屋の換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 誤作業の結果、機器が停止しており、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 復旧作業にあたっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画書に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 工程停止期間中に行う保守作業のため他工程への影響は生じない。</p>	
対応の概要	<p>(1) 誤って取り外した端子を復旧し、正しい箇所の電源ケーブル端子取外しを行う。</p> <p>(2) 端子の復旧を確認した後、定められた手順に従い運転を再開する。</p>	
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない)</p> <p>放射線物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>放射線物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

